

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。



カーリングシーズン到来（11月10日・11日）

町教育委員会などが主催する町民カーリング教室が、空知川スポーツリンクスで行われ町内の小学生など、延べ34名が参加しました。

講師は、NPO法人どころ野外学校の目黒義重代表や金村萌絵さんら同スタッフなどが務め、参加者のレベルに合わせてグループ分けし、氷上での動き方やストーンの投げ方などの基本動作、得点の数え方などの基礎知識について教わった後、ミニゲームを行いカーリングを楽しみました。

芸術の秋 芸能発表会（11月3日）

例年この時期に行われる町文化協会（阿部淑会長）の主催による芸能発表会がみなくて開催されました。

発表会には、各加盟団体に所属する会員の9団体約30名の皆さんが出演し、日頃活動している成果発表の場として、カラオケや民謡、舞踊やダンスなどが披露され、会場から大きな拍手を浴びていました。



北落合小でグルジア国を学ぶ（11月13日）

北落合小学校で、日本と異なる文化や暮らし、自然風土をもった「グルジア国」を学ぶ授業が開かれました。

この授業の講師としてグルジア国在住の佐々木誠一氏を招き、グルジア国の歴史や文化をわかりやすく伝え、児童は熱心に聞き入っていました。授業の後半にはグルジアの大学生がビデオレターで、北落合小の児童に日本語で質問を行い、その答えをグルジア語を交えてビデオで答えていました。



熱戦で順位を競う（10月27日）

秋の火災予防運動期間にちなみ、富良野広域連合富良野消防署南富良野支署が主催する「第27回防火ゲートボール大会」が町民体育館で開催されました。大会には町内各地域から6チーム36名が参加し、総当たりのリーグ戦で行われました。どの試合も白熱した熱戦が繰り広げられました。

成績～優勝：幾寅ヘルシー、準優勝：下山しらかば、第3位：金山ひなげし

みんなのスキー場をきれいに（10月20日）

南富良野スキースポーツ少年団（加藤賢一後援会長）では、団員のボランティア精神の高揚と活動の拠点となるスキー場への感謝、シーズン始めの体力づくりを兼ねて、スキー場に隣接する町道約2キロの清掃奉仕活動を行っています。

今年も団員や育成者、指導者の皆さん総勢40名が集まり、グループに分かれ駐車場や町道に捨てられていたゴミを丁寧に拾っていました。



シリーズ学校だより ①19

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶南富良野中学校▶▶



自己の生き方を考える
総合的な学習の時間
南富良野中学校の総合的な学習の時間は、各学年ともに、地域の特性や人材を生かした①環境教育、②福祉教育、③キャリア教育の3つのジャンルから構成されています。
第一学年での福祉教育では、町内の高齢者福祉施設（一味園・ふくしあ）を訪問し、利用者の方々と接し方や福祉施設の概要を学習しました。そして、高齢者に配慮した住みやすい町のあり方について考えを深めることができました。
第二学年での環境教育では、ソラブチイトウの会のご指導のもと、イトウの生息環境調

査を通して、森林や河川とイトウとの関連性を見出す学習に取り組みました。その結果、森林の豊かさが生物の多様性を可能にしていることを実感することができました。
第三学年では、どのジャンルにおいても、体験したことや収集した情報を整理・分析し、仲間との真剣な話し合いがなされていました。自己の生き方を具体的に・実践的に考える学習活動が実現されました。
総合的な学習の時間は、すべてのジャンルで、地域の皆様との連携によって計画・推進されています。子どもたちの学びを充実させるため、今後とも本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いたします。



一味園で出前学芸会（11月2日）

幾寅小学校の1・2年生児童28名が、特別養護老人ホーム一味園を訪れ、出前学芸会が行われました。学校の学芸会とは違う歌や踊りをこの日のために練習し、「夢をかなえてドラえもん」などを利用者の前で披露し、拍手が沸きました。児童の皆さんで「これからも長生きしてください」と利用者を励まし、帰りには利用者ひとりひとりと握手をかわし施設を後にしました。

見えない心の中身を覗く（10月30日）

北海道舞台塾ふらの実行委員会の主催による、富良野塾OBユニット巡回公演がみなくて行われました。OBユニットの皆さんによる公演は今年で9回目となります。今回は「箱の中身」という作品が上演され、見えない他人の心、心が逃げ込む箱、そんな心を描いたストーリーに、来場された皆さん（95名）は、舞台に引き込まれながら舞台演劇を堪能していました。

